

# TSK 「社会福祉法人つどいの家」

後援会だより ~第106号~



各事業所の活動でも、市民の方とのふれあいを大切にしています



いつも温かいご支援ありがとうございます



# ドキュメンタリー映画 「チョコレートな人々」上映会報告

今年度のセミナー(上映会)は、11月21日(木)、ドキュメンタリー映画「チョコレートな人々」の上映会を社会福祉法人つどいの家・つどいの家後援会共催で、宮城野区文化センターパトナシアターにて開催しました。当日は3部に分けて上映し、福祉関係者の方々のみならず福祉に携わっていない方も多く、今年から始めたしょうがい者割引を利用した33名を含め179名の方々に来場して頂きました。

この映画は、愛知県豊橋市の街角から始まった「久遠チョコレート」の取組を映画化した作品になります。「誰も置き去りにしない社会、誰も置き去りにされない世界」という願いのもと、心や身体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシャルマイノリティなど多様な人たちが働いています。一人ひとりの個性を尊重しつつ、合理的配慮に環境調整までそれぞれの働き方があり、それぞれのストレングスに目を向け、お店の中で本人たちが輝ける場を提供し成長していく姿が描かれていました。



「チョコレートは失敗しても温めれば、やり直すことができる」、チョコレートはアイディア次第で付加価値が高まる魔法の食材。福祉と経済、生きがいと生産性、様々な人と共に働くよろこびと、その難しさを題材に19年に渡り密着して東海テレビによって映画化されました。多様な人々のそのまを受け止め、在り方を見出して新しくも優しい凸凹な物語があり、商品のチョコレートは他のブランドとは一味も二味も違う素敵なものとなっています。



当日は、久遠チョコレート宮城古川店の方々が日中の部に来てくださり、大盛況となりました。これを機会に、今多くの方に「共生社会・多様性・しょうがい福祉」といったものを考えていけるような、そんな時間をお届けできたのであれば嬉しく思います。



ご来場くださいました皆さま、開催にあたりご協力頂きました皆さまに深く感謝申し上げます。

(つどいの家・アプリ 鈴木恵雅)

## ○ 頂いたアンケート・感想の一部より

- ・障害者、マイノリティーの方々が働くことの難しさ、共存を目指し、環境を整えることの難しさを知りました。生みだされるチョコレート、お菓子のもつ力は、それが特別ではなく「美味しいものを作る」その一心でつながっているように感じました。
- ・自分に合わないから排除するのではなく、相手に合わせて環境を整えていくことの大切さがよくわかった。自分の正解が=相手の正解ではないし、適材適所が大切で「失敗したっていい」という言葉が胸にひびきました。

連載 **きいて きいて** 第8回

～社会とのかかわりの中で～



Kさんはあることをきっかけに、長年近所にある公園をお母さんと一緒に散歩しています。モニタリングでお会いするたびに、母子の日課となっているお散歩での楽しい会話や、公園でお会いする方々のお話しをお聞きし、ほっこりした気持ちにさせてもらっています。お二人にとって癒してあり、ストレス解消となっている公園での散歩と地域の方との交流について、臨場感たっぷりに教えていただきました。

(相談支援事業 くれよん 福地真衣子)



## 「地域の人達と交流をしていますか」



息子は、脳性麻痺による両上下肢機能障害です。  
ある日、額に数ヶ所も傷をつけて、帰ってきた時があります。  
「お母さん、皮膚科に行ってみてください。」と言われ、病院を探しWクリニックを受診しました。そうしたら、“ストレス病”と診断されました。  
ストレス病とはどんなものだろうと思い、今度はK心療内科を受診しました。  
K心療内科では、息子にしてみれば何がストレスなのか、解消するには何をしたら良いのかなど、いろいろなアドバイスをしてくれました。  
最初は近所を、ラジオを聴きながら、車イスを押して歩きました。ぐるぐると一回りをすると、親子の一方通行で終わってしまう。地域の人たちとふれ合うことができない。  
何か良い方法はないかと、足を伸ばしてみました。  
だだっ広い公園が見えました。  
犬の散歩をしている人、サッカーをしている人、ゲートボールをしている人達。皆さん元気です。  
数ヶ月経って、何気なしに地図を見ていたら、天沼公園を発見しました。  
どんなところだろうと思い、ストレス解消に息子と足を運んでみました。  
心が癒され、四季折々に花が咲き、とても感動しました。



公園へ行く途中、学校の前を散歩しているノンくん(老犬)。  
自転車に乗って、防犯のボランティアをしているSさん、「こんにちは、今日は早いですね。」  
〇〇のおばちゃん、おじちゃんに「行ってきます!」  
一生懸命、ウォーキンしているFさん。  
八百屋さんに勤めているおばさんは、息子にグータッチをしてくれます。  
たいこ橋の上で、〇〇会に熱心なAさんは「Kちゃん、元気かあ?」と挨拶をしてくれます。息子が怒っている時は、「どうしたの、Kちゃん。」と声を掛けてくれます。  
橋の上で30分ぐらいおしゃべりをして解散です。

毎日の様に散歩をしている息子、明日はどんな日になるだろう。

(つどいの家・アプリ 利用者家族 山内 美智子)



## 募金箱設置店 紹介

# HANAI hair design【ハナイ】

〒982-0014

仙台市太白区大野田 5-32-5 ルイーネ富澤102

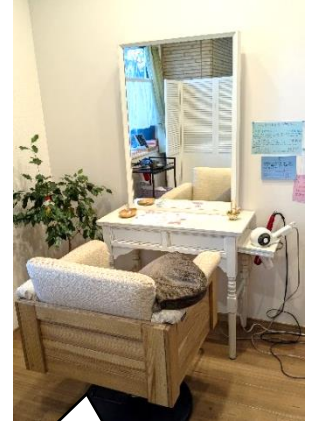
TEL 022-707-7358 定休日:(火)

今回ご紹介するお店は、太白区大野田にある美容室【HANAI hair desing (ハナイ)】です。仙台市地下鉄南北線富沢駅の近くにある白い建物の1階なので、地下鉄でも車でも通いやすい立地にあります。つどいの家の利用者の中にも、常連客の方がいて、皆さんお気に入りのサロンです。

店長にお話を伺ったところ「以前より、女性のお客さまが、出産や育児によって美容室に行きづらくなるということがありました。その経験から、子育て中の女性はもちろん、誰でもゆっくりできる店、髪もきれいになって、気持ちもリフレッシュできるような店を開きたいと思うようになった」とのことでした。そのことは通りに、店内は木目調の柔らかな雰囲気になっており、小物や装飾も可愛らしく、リラックスできる工夫が随所に感じられました。また、バリアフリーで、店内を移動せずに「カットから洗髪までできるチェア」もあり、移動が難しい方も安心です。扉を閉めると個室にもでき、周りが気になる方にも配慮されています！技術はもちろん、心からくつろげる美容室 NANAI へぜひ、ご来店ください。(ぴぼっと支倉加藤裕絵)



リクライニングのあるチェアには、シャンプー台が内臓！



ふわふわクッションのチェアも！

## ❀ つどいの家後援会会員募集 ❀

### ～ 後援会の目的 ～

しょうがい者の福祉や社会福祉法人つどいの家の基本理念に対する社会の関心や理解を広げ、法人の運営する事業所及び事業を支援すること

つどいの家では施設整備をはじめとするサービスの充実を図るため、より一層の資金を必要としています。つどいの家を支える後援会の活動にご賛同ご協力をお願いいたします。

■入会の申し込み: 「つどいの家・アプリ」までお電話でお申し込みください (022-743-1882)

### ■年会費

- ・運営会員 3,000円 \*議決権あり
- ・賛助会員(個人) 3,000円以上 \*議決権なし
- ・賛助会員(団体) 10,000円以上 \*議決権なし
- ・協力会員(募金箱設置やポスティング等の協力)

編集者: 「社会福祉法人つどいの家」後援会 会長 針持 哲郎

〒984-0838 仙台市若林区上飯田1丁目17-58 (つどいの家・コペル)

TEL 022-781-1571 FAX 022-781-1573

発行者: 東北障害者団体定期刊行物協会

〒980-0874 仙台市青葉区角五郎1丁目-12-6 頒価/100円(後援会の会費を充てています)